

ビーム物理研究会・若手の会

<http://beam-physics.kek.jp/bpc/wakate/wakate/> ; beam.youth.sec@gmail.com

【構成メンバー、人数】

ビーム物理学に関わる 45 歳未満の若手研究者・技術者、大学院生、学生らで構成
人数：86名（2019 年 3 月 31 日時点）

【代表者】

氏名：原田寛之、所属：日本原子力研究開発機構 J-PARC センター、職位：副主任研究員

【学術分野】 「理学・工学」

【関連のある学協会名】

ビーム物理研究会、日本物理学会ビーム物理領域、日本加速器学会

【設立の経緯】

- 2016 年 10 月 日本学術会議 若手科学者ネットワークから登録依頼
- 2016 年 11 月 若手の会設立に関して有志数名で議論。ビーム物理研究会会長に相談
- 2017 年 03 月 日本物理学会第 72 回年次大会インフォーマルミーティングで「組織化提案」
- 2017 年 03 月 若手科学者ネットワークへ登録、実質的な活動開始
- 2017 年 08 月 日本加速器学会第 14 回年会インフォーマルミーティングで「組織化承認」
- 2018 年 01 月 ビーム物理研究会・若手の会メーリングリストを作成
- 2018 年 02 月 ビーム物理研究会・若手の会 会則を作成
- 2018 年 03 月 日本物理学会第 73 回年次大会インフォーマルミーティングで「設立承認」

【ミッション】

ビーム物理は、粒子加速器におけるビーム力学的物性研究を内に含み、ビーム・プラズマ相互作用、ビーム・レーザー相互作用、非中性プラズマ、光子ビーム、イオントラップなどの多様な分野を統合する概念である。様々なビームは、物理学のみならず医学、薬学、工学の学術的研究に加えて、エネルギー、産業利用等の幅広い分野の研究基盤として利用されている。ビーム物理学が支える科学技術の発展を目指し、次世代を担う若手研究者の交流を活発化させることが「ビーム物理研究会・若手の会」のミッションである。

【活動内容】

- ①「第 3 回若手科学者サミット」への参加とポスター発表

日時：2018 年 6 月 4 日

会場：日本学術会議 講堂

主催：日本学術会議 若手アカデミー 若手科学者ネットワーク分科会

② 研究会「ビーム物理研究会・若手の会 2018」の開催

会期：2018年11月20日～22日（内、若手の会：21日夕方～22日）

会場：量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 重粒子治療推進棟 2階 会議室
幕張セミナーハウス（若手の会）

主催：量子科学技術研究開発機構

共催：ビーム物理研究会、ビーム物理研究会・若手の会

後援：日本加速器学会

講演数：招待講演2件、一般口頭発表11件、若手口頭発表11件、若手ポスター発表12件

参加数：56名（内、若手の会：44名、学生：29名）

備考：若手研究者や学生の研究意欲を高め、研究者・社会人としての自立と発展を支援することを目的とし「若手発表賞」を設け、4名の受賞者。

③「ビーム物理研究会・若手の会」の活動報告1

日時：2018年8月10日

会場：ハイブ長岡

会議名：日本加速器学会第15回年会インフォーマルミーティング

④「ビーム物理研究会・若手の会」の活動報告2

日時：2019年3月15日

会場：九州大学 伊都キャンパス

会議名：日本物理学会第74回年次大会インフォーマルミーティング

⑤日本加速器学会誌「加速器」へ「ビーム物理研究会・若手の会」を寄稿・掲載

掲載誌：日本加速器学会誌「加速器」

巻・号・ページ：15巻3号 2018 (143–150)

発行日：2018年10月31日

【課題】

- ①「ビーム物理研究会・若手の会」設立後の運営
- ②「ビーム物理研究会・若手の会」組織の強化
- ③ 優秀な若手科学者の研究環境

【若手科学者ネットワークを通じてうまれた活動】

- ①「ビーム物理研究会・若手の会」の設立
- ② 日本学術会議 若手アカデミーとの交流や意見交換
- ③ 若手科学者サミットへの参加による他分野の若手科学者との交流や意見交換
- ④ 所轄省庁の関係者との交流や意見交換